

【NEWS RELEASE】

2024年10月1日

各 位

株式会社三井住友銀行

アジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループの年次報告書の公表について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は 2021 年から中心メンバーとして参画しているアジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループ（以下「ATF SG」）が、2024 年 9 月 30 日「ATF SG 年次報告書 2024」を公表したことをお知らせします。三井住友銀行は、これを踏まえて、引き続きステークホルダーとの対話を深め、トランジションファイナンスを通じた実体経済の脱炭素化に貢献してまいります。

ATF SG は、アジアで事業を展開する金融機関を主なメンバーとする民間主導のイニシアチブです。アジアにおけるネットゼロの実現にはトランジションファイナンスが重要との認識のもと、アジア経済がより持続可能な未来に向けて「公正で秩序ある移行」を達成するための支援を行っています。金融機関がトランジションファイナンスを検討および評価する際の国際基準や、タクソノミーを含む既存のフレームワークを補完する実用的な推奨事項を作成するとともに、トランジションファイナンスの推進に係る課題を理解し、潜在的な解決策を探求することを目標としています。

ATF SG 年次報告書 2024 は、商業銀行を中心とするメンバーによる数ヶ月の議論を経て作成され、開発銀行、輸出信用機関、公的機関、金融関連の業界団体等に加え、エネルギー、産業、保険・保証分野の関係者やアドバイザー等も交えた議論結果をまとめています。官民協力によりリスクを軽減、分散することで、トランジションプロジェクトが実現可能かつ投資価値のあるものになることを示しています。ATF SG は、プロジェクトの主要なリスクを理解し、官民双方が各リスクへの対処方法を把握することで、すべての関係者間の協力がさらに円滑になると考えています。

当行は、今後も ATF SG と共に、公的機関およびトランジションファイナンス受益者との連携を通じて、実務者としての経験から得た必要な支援要素に関する金融機関の見解や、ピアラーニングを通して得たトランジションファイナンスに関する各種ガイドライン、各国のタクソノミーを含む政策、トランジションファイナンス事例についての深い理解と実践的知識の共有に取り組んでまいります。

（参考）

ATF SG 年次報告書 2024 : <https://www.atfsg.org/report/asia-transition-finance-study-group-atf-sg-annual-report-2024>

アジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループ : <https://www.atfsg.org/>

以 上